そすいの郷

第３２６号
２０２１年（令和３年）
９月２０日 編集・発行
西地区コミュニティ運営委員会
広報編集部会

（道端で彼岸花を見つけました。9/11三区町にて）

実りの秋 通学風景

～「ながら見守り」にご協力を！～

西小学校、朝の通学風景です。撮影は９月上旬、三区町の通学路です。先月号で通学路のカラー舗装についてお知らせしましたが、その時は、淡い緑色の舗装でした。その後、塗り増しされ、緑色となりました。

通学路の隣りの水田は、稲穂が頭を垂れ始めており、間もなく収穫の時期を迎えます。

子ども達の行く先、押しボタン式信号のある交差点には、ボランティアの方が子ども達の安全を見守っています。この日も３人の方が、横断旗を持ち誘導に当たっていました。

夏休みが明け、8月27日から登校風景が見られました。昔は夏休み明けから新学期でしたが、今の西小学校は２学期制なので、短い秋季休業（秋休み）が明ける10月14日（木）が後期の始業式です。

少子化や核家族化が進み、子どもを育てる社会環境が変化する中、子どもが巻き込まれる事件事故が心配され、登下校の見守りも重要です。地域社会・家庭・学校・行政が連携し、子どもを見守り育てる力を強化することが大切です。

西地区コミュニティ運営員会では、地域の宝である子どもを安心・安全に育む活動として、那須塩原市の「子どもを見守るまち宣言」に沿った活動に力を入れることとしています。

皆さん、『ながら見守り』にご協力をお願いします。

【宣言の内容】
◆地域ぐるみで、登下校時の子どもの見守りを推進します
◆地域ぐるみで、子どもを見守る意識を高めます
◆地域と行政が連携を深め、子どもの見守りの輪を広げます

皆さん一人一人の意識の積み重ねが地域の安全を高めますので、散歩中・庭の手入れ中・買い物途中など、日常の中での『ながら見守り』にご協力をお願いします。

【お知らせ】 **１０月２４日（日）に予定していた「いも煮会・西公民館まつり」につきましては、中止としましたので、お知らせします。**

西コミの机とイスが新しくなりました。

西コミのイベントなどで使用しているテーブルとイスが新しくなりました。テーブル62台とイス100脚です。

一般財団法人 自治総合センターが実施している「コミュニティ助成事業」を活用しました。

西コミの備品です。大事に使いましょう。

なお、備品にはご覧のようなシールが貼られています。

「あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。（クーちゃん）」と書かれています。

地域の話題・トピックス

西地区の行事や出来事、身近な話題などの情報がありましたら、広報編集部会員または西公民館（☎37-1677）までお寄せ下さい。また、西地区で活動していること、趣味のこと、自慢話や思い出話、地域の昔のことなど、「そすいの郷」への投稿も募集しています。（できれば写真も一緒にお願いします。）

投稿

今日は何の日

西赤田　平野孝雄

新型コロナの蔓延により、外出が制限され、家の中で過ごすことが多いこの頃、何となく本棚を覗いたら、「今日は何の日」を目にし、何時何処で購入したかは不明だが、開いてみると平成3年（1991年）2月15日、図書印刷株式会社発行で、1月1日から12月31日までの１年３６５日が１日毎に、昔からのその日の諺、事柄が書かれているので、私の誕生日、５月１日を開いてみると

１．西宮球場開園、昭和12年（1937年）：現阪急球団本拠地
２．美空ひばり、横浜国際劇場でデビュー、昭和23年（1948年）
３．メーデー流血事件、昭和27年（1952年）
　メーデーは明治19年（1886年）、アメリカの労働者が１日「８時間の労働、休息、教育」を叫びストライキ、デモを行ったのが始まりで、３年後の1889年、第２回インターナショナル創立大会で、この日を万国労働者団結の日と定め第１回メーデーが行われた。
　我が国での集会は明治38年平民社が開き、大正9年（1920年）労働組合が主催で行われたのが最初である。
４．世界最初の郵便切手がイギリスで1840年（天保11年）ヴィクトリア女王の胸像画を印刷したものが発行された。

などの事柄が書かれていたが、その中にあったメーデー。今私の心に残るメーデーは、旧西那須野町の「地区労」（町内にあった事業所の労働組合の連合組織）主催でメーデーを行った時、労働組合（全農林）の委員として参加し、集会の事務局長を務めたことがあった。
集会は西那須野駅の貨物（組織の１つ）から大型トラックを借りて、荷台を舞台として、愛宕神社脇の広場に200人程が集まっての集会の後、町内をデモ行進した。この時、私は「総括者」と書かれたタスキを掛けて、隊列の先頭に立って行進した。
参加者は各事業所の20％を目安に招集され、私の勤務していた農業試験場でもこれが認められ、参加者は出勤扱いで参加出来た良き時代だった。

投稿

第230回大会を開催（三区ゴルフ愛好会）

38年前の1983年（昭和58年）2月「農家のおやじがゴルフをやってもおかしくなかっぺ」と設立され、以来、年6回、平日、県北のゴルフ場を中心にプレーを楽しんでいる三区ゴルフ愛好会（内藤利夫会長）ですが、8月27日（金）、喜連川カントリー倶楽部にて、節目の「第230回大会」を開催しました。

この日の参加者は19人。親子、夫婦での参加に加え、新会員としてﾌﾟﾚｰしたYさんは、祖父、父も会員。歴史を感じる大会でもありました。38年の歴史の中、ﾎｰﾙｲﾝﾜﾝの達成者は１名。ｱﾝﾀﾞｰでのﾌﾟﾚｰ２名。200回出場達成者２名。80才以上でプレーした会員９名といった記録のほか、プレー料金では、14,200円食事別（H6.8.23 那須ちふり湖）との記録も残っています。新型コロナのため、公民館での「表彰式＆残暑払い」はできませんでしたが、全ホールでアトラクションを行い、大いに楽しみました。（三区町 肥塚喜弘）

烏ケ森の野鳥たち⑧　オオタカ（蒼鷹）幼鳥

今年も、烏ケ森から３羽のオオタカが巣立ちました。４月中旬には抱卵が始まり、６月上旬からヒナの姿が見え始め、６月下旬には巣の外に出るようになりました。その後、巣の周辺から離れるようになり、８月中旬まで、烏ケ森からは、親に餌をねだるような鳴き声が聞こえました。５月中旬から７月末まで、巣の周りには「希少野生生物が繁殖中のため進入禁止」と書かれたロープ柵が張られましたが、この間、朝の散歩などに訪れた人達の話題ともなり、オオタカは温かい目で見守られていました。巣の近くでは、国道４号の工事が本格的になってきますが、来年もまた、営巣して欲しいものです。（写真は7/28に撮影したオオタカの幼鳥です。）